

ジブチ月例報告 (2022年10月)

在ジブチ日本国大使館

【内政】

- 10月2日、第2回通常議会開会。モハメド国民議会議長が、アブドゥルカデル首相、各大臣、駐ジブチ大使、駐ジブチ各国軍関係者らを迎えた。国民議会議長は、来年2月に予定されている国民議会選挙の重要性を強調。
- 10月4日、第13回閣僚会議開催。保健システム強化プロジェクトに係る法律案など9件の議題が承認された。
- 10月5～6日、閣僚級ワークショップがタジュラ州で開催。「レジリエンスのある社会の実現に向けた連携」をテーマにアブドゥルカデル首相が主催し、公共サービスの効率化と近代化などについて協議。
- 10月11日、第14回閣僚会議開催。ジブチ港湾コミュニティ・システム・プラットフォームの導入など5件の議題が承認された。
- 10月13日、第2回通常議会が開催。武装 FRUD をテロ組織指定し、同組織の支持者などを処罰する法令が採択された。

【外政】

- 10月4日、ヒシャム・スーダン運輸大臣を代表とするスーダン代表団とゲレ大統領が会談。ジブチ側は、農業大臣、インフラ設備大臣、港湾フリーゾーン庁長官が参加し、港湾分野での協力、食料安全保障などについて協議。
- 10月11日～13日、ユスフ外務・国際協力大臣が UAE を訪問し、UAE アフリカ担当大臣、アブダビ開発基金代表らと会談し、投資、エネルギー、住居などについて協議。
- 10月18日、ユスフ外務・国際協力大臣が、モロッコが議長国を務めるアフリカ連合第2回平和と安全保障オンライン会議に参加。気候変動や食料安全保障などについて協議。
- 10月19日、Hu Bin 駐ジブチ中国大使とユスフ外務・国際協力大臣が、507 トンのコメ供与に関する書簡の交換に署名。
- 10月20日、フランス、ベルギー、ブラジル、カメルーン、オーストラリア、韓国の新特命全権大使が、ゲレ大統領に信任状を奉呈。
- 10月25～27日、ユスフ外務・国際協力大臣が率いる政府代表団がエチオピアを訪問し、デメケ・エチオピア副首相らと第16回ジブチ・エチオピア合同閣僚委員会を開催。政治、司法、経済、港湾・輸送などについて協議。

【経済・開発】

- 10月1日、アブドゥルカデル首相が、He Liehui タッチロード社代表、駐中国ジブチ大

使、オボック州知事、スポーツ担当大臣らと共にオボック州を訪れ、Ras Syan ホテルコンプレックス建設工事を視察。

● 10月3日、アブドゥルカデル首相、ハッサン・インフラ設備大臣がアンブリ国際空港拡張整備工事を視察。出発ロビーに加え、トランジットゾーン、免税店、カフェテリア、モスク、待合室、VIP ルームを整備中。

● 10月10～16日、ワシントンで開催された世銀、IMF の年次総会に際し、イリヤス経済・財政大臣、イスマン予算大臣、ハディ港湾フリーゾーン庁長官ら代表団が両機関と協議。

● 10月10日、リーダーシップ起業家センター（CLE）が、中小企業、スタートアップ向けのクラウドファンディング・プラットフォームの確立を目的とするジブチ・クラウドファンディング・プロジェクトを立ち上げ。

● 10月18～20日、ヨニス・エネルギー大臣がインド・ニューデリーで開催された第5回国際太陽光同盟（ISA）総会に参加。インドとの二国間会議において、両国間のパートナーシップによる、太陽光発電による僻地の村の電化、技術者の能力向上などについて協議。

【保健・衛生・社会】

● 10月1日、ロブレ保健大臣、駐ジブチ中国大使出席の下、タジュラ州の旧病院の解体工事式典が開かれた。中国による約30億フランの供与で4,132 m²、50床以上の病院が2年の工期で建設予定。救急科、内科、外科、産婦人科、小児科、検査室、放射線科、超音波科、などを備える。

● 10月3日、サウジアラビアが、国民教育情報制作研究所（CRIPEN）に11コンテナ相当のアラビア語教育機関向けの教科書を寄付。

● 10月4日、イリヤス経済・財務大臣とフランス開発庁（AFD）、EU が水と衛生へのアクセス環境改善のための協定に署名。総額4千万ユーロでジブチ市の排水処理の改善を目的とする。

● 10月26日、タジュラ州で新スルタンの就任式が行われ、ゲレ大統領夫妻、閣僚、議員、行政関係者のほか、エチオピア、ソマリランド、プントランド、エリトリアなど近隣諸国からの賓客が出席。

【軍事・治安】

● 10月3日、ATMIS 派兵中の駐ソマリア・ジブチ軍兵士2名が、自爆テロにより死亡。

● 10月7日未明、武装 FRUD が、タジュラ州ガラブティサンのジブチ軍部隊を攻撃。7名の兵士が死亡、6名が行方不明。

【日本関係】

● 10月6日、日本国大使館がジブチ商業観光省と連携し護衛艦はるさめ向けのジブチお土産販売プロジェクトを実施。

- 10月10日、米軍、イタリア軍、スペイン軍と自衛隊が、識字率の向上を目指して、バルバラ第7小学校に図書館を寄贈。
- 10月19日、大塚大使がユスフ外務大臣とジブチ共和国に対する自然災害への対応能力向上のための支援（無償資金協力「経済社会開発計画」）に関する書簡の交換に署名。
- 10月23～25日、気候変動・研究サミットが開催され、大塚大使が23日の開会式に出席。24日には東京農業大学の島田教授がパネリストとして登壇。
- 10月29日、保健省が母体、新生児ケア向上ワークショップを開催。自衛隊、米軍の医療関係者が参加し、助産師へのアドバイス、意見交換を実施。

（了）